

(農)サンファーム法養寺だより

農事組合法人サンファーム法養寺
平成27年5月1日



トラクターオペも 若手に交代します



今年からトラクターのオペレータを若い人をお願いしています。当面、西澤徹さん、神野弘樹さん、渡邊晃さんに声をかけています。4月26日、西澤徹さんが終日代かき作業をしてくださいました。もちろん会社勤めなので休日だけの出役ですが、すでにトラクター免許も取得してもらっていますので、操作はおてのもの。どこの集落も定年退職者が中心になって集落の農作業を担っていますが、いずれ限界となります。法養寺では今から若い人に集落営農を担ってもらえるよう無理をお願いしました。ご苦労様ですがよろしくお願ひします。



(写真上)3月19日に定植したハウストマト

左が大玉(麗夏)、右がミトト(7仁)。これまで気温の低い日もあって、家庭用のストーブを3台もつけて保温してきました。現在1段目に実がつかけています。これからの管理作業が大変です



(写真上)4月末のハウスイチジク

早くも田植えが行われています。例年どおりゴールデンウィークは田植えの真っ最中というのが世間の常識のようです。法養寺では田植えは5月中旬から始めて25日頃に終わる予定をしています。農協のカントリーの荷受けの都合により遅くしているのですが、昨年は遅く田植えした方が一等米比率が高くなりました。5月上旬に植えると穂が実る頃気温が高すぎて「乳白粒」が多くなり一等にならないとのことです。地球温暖化の影響が現れています。法養寺で栽培する米は全て滋賀県認証の「環境こだわり栽培」で農薬も化学肥料も慣行の半分以下です。さらにバイオ炭や家畜糞堆肥も投入して安全・安心でおいしい米作りをしています。法養寺の米をお買い求めされた方には「おいしい米作り」に「おいしい」と言われますが、甲良の土地柄と私たちの努力の賜と思っております。

法養寺の田植えは5月中旬から



志穂ちゃん トラクター初運転



4月から出勤し始めた山本志穂ちゃんに法養寺の多くの皆さんからご声援いただきありがとうございます。本人は楽しく働いています。

ただ4月は雨が多くて外の仕事ができなかったのが残念です。

4月25日、はじめてトラクターを使って耕耘作業をしてみました。学生時代にトラクター免許は取得していますが、耕耘作業は初めて。まっすぐ進むことに必死なのに、なぜか曲がってしまうのはなぜ?。いやいや誰でも最初はそうだったのよ。

農業の仕事は経験が一番。あせらずゆっくり、でも着実に機械操作のコツを体で憶えてください。何しろ機械の運転は力仕事でもなく女性でも十分にやりこなすことができるのですから。

いつも明るくにこにこしている志穂ちゃんが来てから、サンファームの職場は大変明るくなりました。それにハウス内の手作業も重労働も、ほぼどんな作業でも積極的にやりこなしています。5月からはどんどん仕事が増えていきます。健康に気をつけて、ますますサンファームを明るくしてください。